

## 守山まるごと活性化 議事要旨

会議名: 平成29年度 第4回D安心して暮らせる公共交通を考えるプロジェクト推進会議

日時: 平成 29年 11月 7日(火) 午後7時30分～9時

場所: 中洲会館 2階 大ホール

出席者: 津田、小林、川村、大塚、田中、奥野、萩野、南平、森田、中西

出席者(行政): 館長、会館主事

使用資料: 次第、「中洲学区の公共交通に関する提案書」に対する回答について

## 議題

## 〈協議事項〉

- ・「中洲学区の公共交通に関する提案書」に対する回答について
  - … 地域振興・交通政策課
- ・今後のDプロジェクトの取組について
- ・その他
- ・次回の会議について

## 会議要旨

## 内容

- 「中洲学区の公共交通に関する提案書」に対する回答について  
9月20日に提出した提案書に対して、担当課の地域振興・交通政策課から回答
  - 1 特定目的地の増設  
→おのりやすの延伸、もーりーカーを市外1km圏内まで拡大の両方面で考えている  
おのりやすについては野洲市と協議中で、延伸するとすれば、野洲市のダイヤ改正が行われる  
H31年度からになるだろう
  - 2 乗降場所の増設  
→プロジェクトから提出した新しい乗降場所に基づき、増設を進める
  - 3 登録要件の緩和  
→交通事業所との兼ね合いもあるが、緩和に向けて協議を重ねている  
緩和することで利用者が増えると予想されるので、もーりーカーの台数も増やしていきたい
  - 4 利用方法の簡素化  
→予約は必要だが、空いているもーりーカーがあれば当日でも利用できるようにするなど、事業  
所と協議を重ねている
  - 5 通学時間帯の路線バスの拡充  
→レインボータクシーの学生版(レインボーラインまでのシャトル)を検討している
  - 6 その他  
→・互助運送を車両の手配などは行政で支援できるが、運転手は地元で探してもらうしかない  
・互助運送は、運転手が事故を起こしたらどうしようという思いを抱えながらボランティアをしないと  
いけない。なかなかボランティアの担い手がいない  
・路線バスを廃止して交通空白地にしてコミュニティバスを走らせるという手もあるが、本当に路  
線バスが撤退してしまってもよいか調査が必要。来年度に調査を行う予定  
・今回の回答で終わりではなく、都度、担当課が状況の説明にくる
- 今後のDプロジェクトの取組について
  - ・もーりーカーが野洲市方面に延伸される動きは、Dプロジェクトの成果
  - ・公共交通がうまくいっているところに、年明けに視察に行く
  - 東近江市能登川地区(第一交通が運行するタクシー事業)／草津市の互助運送

## 決定事項

Dプロジェクトとしては、引き続き公共交通に課題について協議していく

次回以降に  
ついて視察先の資料を見て、視察の準備をする  
・第5回会議は、平成29年12月14日(木) 午後7時30分～